



南山大学

南山大学創立50周年記念基金事業 南山エクステンション・カレッジ

春の公開講演会

日程：2015年3月7日(土) 場所：南山大学名古屋キャンパス

定員：500名(参加費無料)

会場は、参加者にお送りする入場整理券に記載します。

「南山だからできる一歩上の学び」を提供する南山エクステンション・カレッジでは、毎年「公開講演会」を開催して、地域社会の生涯学習ニーズにお応えしてきました。皆さまお誘いあわせのうえでご参加ください。

第1部

演題：大震災の教訓から学ぶレジリエンス(しなやかな対応力)の重要性

講師：鈴木 康弘 氏 (名古屋大学減災連携研究センター教授)

時間：13:30~14:30



講演概要：地震は人知を超える。それをわきまえないから、東日本大震災では「想定外」を招き、原発事故まで引き起こしてしまった。科学技術に驕り、何でも経済優先で考え、風土の厳しさと科学の限界に対して謙虚になれない。このままでは日本社会は立ちゆかなくなる。大切なことは、伝統的な知恵や文化をいかして、地震を正しく恐れ、固定観念にとらわれないこと。こうしたレジリエンスの概念に注目が集まっている。

プロフィール：1961年愛知県岡崎市生まれ。東京大学理学部卒。同大学院理学系研究科地理学専攻博士課程修了。博士(理学)。現在、名古屋大学減災連携研究センター教授。専門は活断層・変動地形学、地理学。日本活断層学会事務局長、地震調査研究推進本部専門委員、原子力規制委員会外部有識者。

著書に、「原発と活断層」(岩波科学ライブラリ、2013年)、「ハザードマップ」(岩波書店、2015年)、「レジリエンス創成」(明石書店、2015年)など

第2部

演題：大規模災害に備える～目からウロコの実践的防災・危機管理～

講師：山村 武彦 氏 (防災システム研究所所長、防災・危機管理アドバイザー)

時間：14:45~15:45



講演要旨：1、昨年の主な災害に学ぶ(1)長野神城断層地震「白馬の奇跡」(2)御嶽山噴火災害「災害は突然襲ってくる」(3)広島土砂災害「午前三時の電話」2、東日本大震災の教訓(1)仮説・既往災害にとらわれてはいけない(2)突発災害における「凍りつき症候群」(3)津波防災三か条「心の堤防を高くせよ」3、南海トラフ巨大地震! そのとき、どうなる、どうする(1)建物と心の耐震化(2)わが家の安全ゾーン 4、日本人の礼節

プロフィール：学生時代に遭遇した新潟地震(1964)でのボランティア活動を契機に防災アドバイザーを志す。地震、津波、噴火、土砂災害、テロ、事故など250か所以上の災害現地調査実施。阪神・淡路大震災時は、2時間後に現地入りし救助・調査活動にあたる。企業・自治体の危機管理アドバイス、講演執筆等を通じ、防災対策、安全・安心まちづくり等の意識啓発に活躍中。

★受賞歴：文部科学技術庁長官賞受賞

★提唱・推進：「近助の精神」「防災隣組」

★所属学会：日本災害情報学会、地域安全学会

★現職：防災システム研究所所長

著書に、「近助の精神・近くの人が近くの人を助ける防災隣組(きんざい)」、「防災・危機管理の再点検-進化するBCP(きんざい)」、「目からウロコの防災新常識(ぎょうせい)」など

申込方法

ハガキ、FAX、電子メールのいずれかで、①氏名②郵便番号③住所④電話番号⑤電子メールアドレスを明記(複数名で参加希望の場合は全員分)して、南山大学 南山エクステンション・カレッジ事務室へお申し込みください。なお、電子メールの場合は、件名を「3/7講演会申込」としてください。

※南山大学在学学生は学生番号も記入してください。

※応募者多数の場合は抽選し、2015年2月25日(水)頃までに入場整理券をお送りします。

申込締切：2015年2月16日(月)必着

申込・問合せ先

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

南山大学 南山エクステンション・カレッジ事務室

電話 / 052-833-6957 FAX / 052-832-4306

E-mail / extension-s@nanzan-u.ac.jp

http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/

【お願い】 駐車場の用意はありませんので、自家用車での来学はお断りします。公共交通機関でお越しください。

